

「住民投票に行こう」の呼びかけを

最後まで幅広く！



「住民投票成功集会」2月12日 門前公民館

「あと8年で『美谷』の埋立処分場が満タンになる」という市長の説明はウソだった。

2007年の地震のあとに震災がれきが大量に持ち込まれたためにかかなり埋まったけれど「あと20年はもつ」と「輪島の産業廃棄物処分場問題を考える会」が発表しています。

梶市長と「拓政会」

ウソまでついて

産廃処分場誘致に異常ともいえる執念

何がそうさせているのでしょうか ???

普段「議会報告」などやってこなかった「拓政会」が5回も「産廃処分場は安全です」というチラシを新聞に折り込みました。そして「投票に行かない」よう呼びかけ続けています。

そもそも「住民投票」が行われることが決まった後に市長が言い出したのです。どうやって“必要だ”と説明するかを考えた“苦肉の策、だったのでしょうか。

「この住民投票…で、1,950万円の税金が使われることになりました」（「拓政会」議会報告⑤）と言っています。

住民投票を求めた人たちが「税金の無駄遣い」させているとでも言いたいのかも知れませんが、この予算は、「拓政会」のみなさんも全員賛成して決められたのですよ！

安全だ 必要だ 税金ふえると

さかんに宣伝



住民投票に行つて「反対に○印」を

- ◆「世界農業遺産の輪島」が台無しに！
- ◆産廃処分場誘致は輪島の「観光」に大ダメージ！
- ◆60年間も管理し続けなければならない産廃の最終処分場を、任期4年の市長や議員（ともに60年後生きてはいるはずがありません）が責任持てるはずがありません。
- ◆この計画を認めたら、「輪島市は産廃処分場の適地」となって第2・第3の計画が持ち上がることに・・・

梶市長と「拓政会」のみなさんへ

そんなにいいものなら、なぜ堂々と「賛成投票」を呼びかけないのですか？

*病気や施設入所で投票に行けない人、また、「わからないから」と投票に行かなかった人たちを「賛成した」とみなすのはあまりにもずるく・卑怯ではないですか。「邪道」です。



2月3日「産廃から里山里海守る会」が「産廃処分場を認可しないよう」1962筆の署名を石川県に提出しました。